



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~

例会場:大本山川崎大師信徒会館

事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel:044-277-7569 Fax:044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 横山 俊夫
副会長 山井 林次
幹事 小矢 野清
SAA 清水 宏明

第1939回（本年度 第27回）例会 平成25年1月23日 一晴れ一

●司会 清水 宏明 SAA

●点鐘 横山 俊夫 会長

●斉唱 「奉仕の理想」

ソングリーダー 須山 文夫 委員長

本日の卓話者のご紹介 横山 俊夫 会長

鈴木 隆雄様 (株)鈴木法科学鑑定研究所

「犯罪と戦う科学技術」

ゲストのご紹介 横山 俊夫 会長

井上 順八様 国際RC第4400地区 マンタRC

箕田 敏彦様 横浜RC

ご挨拶

井上 順八様

皆さんこんにちは、新年おめでとうございます。国際ロータリークラブ第4400地区 マンタRC井上順八です。一年ぶりくらいに訪問させて頂きました。私共クラブは去年87周年を迎えました。非常に古いロータリークラブでございます。メンバー32名、だいたいそのくらいの人数で推移しております。私もクラブに入りまして30年になり、先日30年の記念の盾を頂きました。かれこれエクワドル生活も35年近くになりますのでエクワドルから日本に戻りたいと思っております。13年ほど前に大師RCとマンタRCが姉妹クラブを締結いたしました。その際に大師RC様から色々なご支援をいただきました。高性



能の救急車を2台、キトという首都の赤十字社、マンタの赤十字社にご寄付いただきまして今でも立派に活動しています。その際建設して頂きました託児所には、その後給食センターが作られ、その給食センターの2階部分に診療所、歯の診療所もございまして。その後母親のための職業訓練所、その作業所、最近では空手教室の所まで施設ができました。大変大きな施設としてマンタのその地域の奉仕に活躍しております。これも大師RC様からのご支援がきっかけになってできていった奉仕事業でございます。

もう一つエクワドルという私の住んでいるところの話題になり大変いい事業だと思っておりますのは、交換留学です。毎年1名17歳の子どもが、日本の枠が一人なもので横浜地区になってしまいますので大変たくさんの希望者がおりますので人選に非常に困ります。大変人気のある交換留学でこれも事業としては大変成功していることだと思います。

今回、横山会長に先日お目にかかりまして私の帰国と共に姉妹クラブの継続という事が非常に難しい状況になると思っておりますので、私共の理事会の承認も得ましてここで姉妹クラブの締結の終了をさせて頂きたいと思っております。先日会長にはご相談させて頂きました。今日は有難うございます。今後も宜しくお願い致します。

箕田 敏彦様

横浜クラブから参りました箕田敏彦と申します。どうぞ宜しくお願い致します。今日はお願ひ事がありまして参上させて頂きました。しばらくご無沙汰をして申し訳ございません。今年も宜しくお願い申し上げます。

皆様お手元にお配りしてあります「手をつなごう、ロータリアン・ファミリー」

神奈川フィルハーモニーは創立当初、財政的に苦しかったので現在でも2億円の債務がございます。今年の11月から債務のある法人は認めない。財団法人その他のすべての法人は認めないということになり、現在何とかこれをクリアして、神奈川県はやはり文化の県として標語しておりますので、これが無くなりますと全く管弦楽団を持たない県ということになります。何とかして継続してもらいたいという事で横浜市民、川崎市民、皆さんに協力をしていただいているわけです。ロータリーとしても横浜クラブが中心になって何とか存続させてもらいたいという事でございます。チラシの下に協賛企業というの



があります。これは横浜クラブのメンバーの企業でございます。こちらが横浜県民ホールを一日借り切ることとパンフレット・入場券等の印刷代も含めて我々が用意をして、地区の皆さんにチケットを買っていただくということでプランニングされているものです。これは個人が寄付した場合には、神奈川県が同額、横浜市が同額、すなわち1万円このチケットを買っていただきますとそれが3万円になって神奈川県に入るようになっております。法人の寄付はだめですが、個人の寄付は全部3倍になりますので、今何とか目途が立ってきて債務が消えそうなところまでやってきました。是非皆さんにもご協力を賜って何とかこれを存続させたいという事です。川崎もミュージア川崎がこの4月から天井が落ちたのが回復してスタートするという事になっておりますので、いずれまたミュージア川崎でも演奏会をやろうということと、現在でも川崎地区の色々なホールで演奏活動を一生懸命やって川崎にもPRをお願いしております。是非皆さんにチケットを買っていただきたい、裏にFAX申込み用紙が付いておりますのでご記入しFAXをしていただきますと神奈川県の方からチケットを送ってくる。お金は振込でお願いするという形になります。何とか皆さんご協力を賜りたいという事で今日参上いたしました。私が川崎地区を担当して廻ることになりましたので毎日のようにあちこちお邪魔をしております。どうかよろしくお願い致します。

会長報告 横山 俊夫会長

- ・台北西門RCより創立36周年 記念式典のご案内が届いています。3月14日ウエルカム 3月15日記念例会です。
- ・地区より…第2590地区 新会員一泊研修セミナーのご案内が届いています。当初は入会一年未満で対象者が限られていましたが入会3年未満の方という事で再通知がきました。
当クラブ4名対象 2月17日・18日
ニューウエルシティ湯河原 費用：クラブ負担
対象者の方は幹事までご連絡ください。
- ・「手をつなごう、ロータリアン・ファミリー」
4月15日(月) 7時～
- ・国際ロータリー年次大会
6月23日～26日(リスボン)…参加旅行案内(回覧)

幹事報告 矢野 清久幹事

- ・2月第二例会はIMです。
慶応大学日吉協生館 藤原記念ホール 13時30分点鐘
- ・東日本大震災被災地支援イベントに協賛した事に対して、陸前高田松の花音頭のCDが届きました。
- ・40周年記念例会のお知らせ(メールBox)です。出欠の返信早急にお願いします。
- ・本日19時30分よりRA例会(川崎振興産業会館)が行われます。地区新世代委員長樋口様の卓話です。

出席報告 石渡 勝朗出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1939回	55	46	26	20	56.52%
1937回	55	47	30	17	63.82%
前々回の修正	メーカーアップ 4名		修正出席率		72.34%

メーカーアップ

林会員、中村会員、水口会員、飯塚会員

スマイルレポート(ニコニコボックス)

矢野 清久幹事

マンタRC 井上 順八様

お世話になります。

横浜RC 箕田 敏彦様

お願い事でお邪魔致します。宜しくお願い致します。

遠藤 悦弘会員

井上様ようこそいらっしやいました。

鈴木 幹久会員

- ①お忙しい中、本日の卓話ありがとうございます。
- ②箕田さんいつも地区では大変お世話になります。

野沢 隆幸会員

- ・新春のおよこび申し上げます。
- ・先日は、竹田会員にお世話になりました。
- ・遠来の井上順八様、ようこそお出で下さいました。

中村 眞治会員

- ①井上さんお久しぶりです。
- ②箕田さんようこそお出で下さいました。

鈴木 昇二会員

鈴木隆雄様、卓話宜しくお願い致します。現在の最先端の法科学とは、楽しみにしています。

須山 文夫会員

昨年12月25日に長男が誕生しました。ニコニコ入れます。

横山 俊夫会長

マンタRC井上様、横はRC箕田様、ようこそ川崎大師RCの例会にお越し下さいました。

矢野 清久会員

- ①鈴木様、卓話宜しくお願い致します。
- ②インフルエンザが大流行しています。手洗いうがいをお願いします。

本日のニコニコのテーマ

鈴木隆雄様 卓話 宜しくお願い致します。

澤口みよ子会員、竹中 裕彦会員、船山 昭三会員、
長島 亨会員、水口 衛会員、飯塚 元明会員
谷澤 幹男会員、嶋崎 嘉夫会員、大藪 善一会員
竹内 祥晴会員、石渡 勝朗会員、横山 俊夫会長

合計 30,000円

委員会報告

40周年実行委員会 宮山 光男実行委員長

40周年記念委員会の全体会議の案内状をFAX致しました。本日13時45日より実行委員会の全体会議を開催いたします。会員の皆様宜しくお願い致します。

卓話者のご紹介

鈴木 幹久会員

鈴木隆雄様の簡単な履歴をご紹介します。

昭和14年3月お生まれ、お住まいは横浜市旭区です。

今日お願いしたのは、私の大学の先輩であるとともに柔道部の先輩でもございます。

昭和36年3月 東京理科大学理学部(物理学)卒業

昭和36年4月 警察庁技官・科学警察研究所
科学捜査部物理研究室

昭和58年～平成9年 物理研究室室長、音声研究室室長、
法科学第二部長、副所長

平成11年3月 警察庁退職

平成11～17年 池上通信機株式会社入社顧問

現在は平成18年7月 (株)鈴木法科学鑑定研究所設立 代表取締役としてお勤めをされています。又平成21年11月瑞宝小綬章を授与されています。

鈴木さんは特に声紋鑑定がご専門というわけではございませんが著書もお出しになっています。その科捜研で在職中には皆さんもご存知かと思えますけれど吉展ちゃん事件、ばんだい号墜落事件の声紋鑑定、北海道庁爆破事件の声紋鑑定、ニセ電話事件の声紋鑑定、グリコ森永事件の声紋鑑定等々非常に声紋について研究をされたことが先ほど申し上げた瑞宝小綬章をされたのではなからうかと思っております。

今日は「犯罪と戦う科学技術」ということで興味のあるお話をいただけるのではないかと思いますのでご期待と共にご静聴をお願いしたいと思います。

卓話

鈴木法科学鑑定研究所 鈴木隆雄様
「犯罪と戦う科学技術」

今日は日本の状況と振り込め詐欺のことでお話しさせていただきます。

私は、大学を卒業するとすぐに警察庁の科学警察研究



所と言うところに入所しました。学校を卒業してすぐに入ったものですから右も左もわからない状態で警察に入ったわけです。警察大学校に入って半年間警察職員として訓練を受けてそれから科学警察研究所に入りました。

来る前にここでお話しすることについて10年前に犯罪捜査に関係して鑑識のお話を少し書いたのがあり読んでみたのですが、昔と今とでは雲泥の差で事実が全く変わっている。

私の入った頃、昭和36年は新しい時代の始まりいいですか警察の科学技術も少し進歩してきたのですが、今考えるとそれでも古かったなあと感じております。

警察の中でどんな犯罪の鑑識があるかといえますと、私のいたのは工学系でテレビのドラマなどで見ている拳銃・交通事故・爆発物・ひき逃げの時に自動車の塗膜が落ちた物を調べる。隣の部門は科学系で麻薬・覚せい剤・工業製品などを分析する。法医というお医者さん分野で死体の検案・血液型・毛髪・骨などいろいろあります。

私の入った物理研究室が工学系の鑑定をやっている科学捜査部、他に交通部と防犯部がありました。防犯部は暴力団の対策、青少年の犯罪の防止などです。交通部は交通信号の制御を研究する、交通事故を減らすにはどうしたらいいかという事をやっている。

戦後暴力団というと日本ばかりでなく外人の方で中国系・韓国とかいろいろな国に方が暴力団を作って企業の中に入り込んでくる。そういうものをどうやって対策するか研究していますがなかなか研究通りの結果が得られない大変な状態だと思います。

当時車のエンジンナンバーの改ざんというのが行われていた。特にオートバイを盗むとエンジンナンバーを削りそこに新しいナンバーを打ちつける。捕まえてみると被害届が出ているエンジンナンバーがない。新しいナンバーがあり昔のナンバーをどうやって出すかというのが私たちの仕事だった。そういったナンバーをどうやって出すか、そういう方法を電気科学的に検出する方法があります。これを2年くらいやっていました。

昭和38年に吉展ちゃん誘拐事件が起こりました。日本では身代金という事件はあまりなかったのですが、少し前から身代金を目的とした誘拐事件というのが始まって、いわゆる声紋鑑定と呼ばれる音声の個人識別の開発が始まりました。

音の鑑定などやったことがないので電電公社の研究所に相談しました。外国に声紋というので声を紋様かきみせる技術があって、それを使えばできると書いてある論文があるからこれでやってみたらどうでしょうかという話を受けて執りかかりました。録音機がなかった。購

入するお金がないのでNHKの研究所に行き録音機を借りてきて音を再生することが始まりました。その中で吉展ちゃん誘拐事件が起こり、警視庁の方が電話の録音をした。これ画期的なことでした。声紋というのを目で見えるような形でやろうと、ところが英国圏で始まった仕事なので日本語だと言いがいろいろあり同じ言葉がない、犯罪の脅迫電話をかけたときの同じ言葉がない。声紋は同じ言葉があって目に見えるような紋様にしてみせるという事で比較できるのですが同じ言葉がなかなか見つからない。最初の内はずいぶん苦労しました。声紋鑑定というのが少し定着してきました。

昭和39年に予算が付きアメリカから機械を買った。苦労をしたあげく昭和40年頃からやっと軌道に乗り始めました。現在は当たり前みたいになっていますがそういう積み重ねがあって初めて仕事が出来た様になったわけです。そういう時代から比べると今は随分変わったなと思います。

その後、道庁爆発とか過激派の事件があって脅迫電話というのがあちこちにかげられた。さらにグリコ森永事件が昭和59年に起こりました。食品会社のメーカーに脅迫電話がかかって何とかしなければならないという事で、各都道府県の警察も頑張ってくれたのですが犯人を捕まえる事ができなかったです。日本の犯罪も随分変わり欧米型になってしまったという事で私達も非常にショックだった事件であります。

事件発生時期には画像処理の仕事にも係わることになりました。当時スーパーコンピューターが今のパソコンにも追いつかない時代でしたので中々鮮明な画像が出来なかった。そのうちコンピューターがよくなってきて画像処理もよくなってきた。

現在、画像処理の仕事も半分以上やっていますが、カメラもよくなり、記録も媒体が出来てきてありがたいなあと思っています。今の防犯カメラはコンビニでも道路でもハードディスクに収められずみられる。犯人の方も素早い対応があり最初の内は顔をさらして平気でATMからお金をおろしていたのですが、最近はマスクや帽子で顔を隠して中々顔が見えないです。ビデオカメラは一秒間に30コマ撮れます。1分で300枚、1時間で3600枚となります。持ってくる場合は1分が2分というのですが、見なければならぬ画像は3000枚・5000枚とある中からいいのを選びなさいという仕事ですから、なかなかきつい仕事です。マンパワーが必要で自動的に検出することができない状態です。私は今警察から持ち込まれた画像の鮮明化と犯人の特定をするお手伝いをしています。

ゴルフ場に行かれる方は気を付けて頂きたいと思えます。頭の上に指先位の小型のカメラがくっついてあって、暗証番号が映って伝送され、受ける方がその信号を受けて暗証番号を解読している。皆さんがプレイされている間に犯人がロッカーを開けてカードをコピーして戻している。スキミングされたことに気付かず、決済がひと月おくれできた時に引き出されていることがわかる。その犯罪にかかわっている中国の人が多く、全国に散らばっています。大元は中国本土にいる。出し子と言われていた人たちがスキミングしたカードを使ってあちこちからメインバンクでやおかしというのはいわゆるのですが、地方のコンビニのATMなどはセキュリティもそれほどきつくないので結構カードが使えてしまう。1回に50万しか下せませんが、振込先を変えていけば10か所やって500万になります。一日3000万円というのが最高額です。昨年の12月には1か月で3億円くらいやられています。ですから銀行協会もかなり力を入れて犯人を捕まえるためにご協力は頂いているのですがなかなかうまく捕まらない。日本にいて在留するのですが2種間くらい

と出て行ってしまふ。逮捕状を取って犯人を特定した時にはもう日本にはいないという状態です。今磁気カード自体はガソリンスタンドに置いてある。そのカードにコピーができるのでカードはフリーパスで持ってこられる。今ガソリンスタンドにもお願いしているのですが地方の方は徹底していません。

その他にひったくり等の事件の解決をしています。昔は目撃者探しと言われましたが、カメラが設置されているお蔭で人間の目を頼ってビデオを追っかけていって犯人の追跡が出来た様になったのでよくなったかなと思います。犯罪は平成19年頃(190万件)から比べて今(140万件)50万件くらい減っています。毎年10万件くらいずつ減って、検挙率は30%前後です。犯罪そのものは減っているのですが、目に見える犯罪と目に見えない犯罪があります。カード犯罪は仮想空間で行われている犯罪です。なかなか尻尾がつかめない。実際の損害もわからないので非常に怖いという事があって多分皆さん方は犯罪が少なくなっているとは思っていらっしやらないと思います。殺人事件はアメリカの五分の一位です。日本では9割方捕まっていますが、捜査で今個人情報のことによって自由がきかないこともあります。実際には情報をもらわないと出来ないのです。

私達、犯罪者におんぶにだっこさせて頂いている部分もあります。パチンコの出玉のコントロールソフト・錠前を開ける方法・カードの読み方など聞いております。残念ながら一歩先を行っていません。コンピュータ犯罪研究所は日本にはない。アメリカやヨーロッパにはあります。将来はそういう研究所があってヘッドハンティングをしていい人を連れてくるかあるはハッカーみたいに国防省で雇うとか、犯罪者に参加して一緒に犯罪防止にはまってる方はないと、攻撃する方は一歩先んじているから受ける方は後になって技術の差もありますからなんともしようがないですね。そういう意味では警察は危機感を持って対処している。

昨年コンピュータ犯罪で、IPアドレスの遠隔操作でコンピュータが乗っ取られる、その人があたかも発信したような犯罪があった。ヨーロッパ・アメリカでは1999年今から10数年前にそういうことが起こったので警告はありましたが日本もそういう時代になってしまかなかおいついていけない。技術が犯罪に追いつくためには、かなりの労苦とマンパワーが必要と思っております。戦う科学技術と申しますが現在は守っているような状態になっているので将来私の後輩たちには是非戦う見通しを立てさせてやって下さい。安心して安全である日本であって欲しいなと思っております。

警察の中でも技術屋がいて頑張っているんだという事をご記憶頂ければありがたいと思います。

卓話御礼

横山 俊夫会長

鈴木様ありがとうございました。

物の犯罪から情報の犯罪になって非常に難しい。皆様もゴルフにいかれるかたくれぐれもお気を付けいただき、自分で使ったものは自分で払って下さい。そういうお話で現場で御活躍かとはおもいます。そういうことがだんだん少なくなっているとはいうものの、まだまだ事件が多いと思います。お気をつけください。

日時：平成25年2月6日(水)は通常例会です。

横浜港北ロータリークラブ

桑原 薫 様



秦 琢二/竹内 祥晴/小泉 知寛

国際親善奨学生報告

こんにちは。
マニラに戻ってからというもの、急にまた暑さと勉強の日々に慣れなければならず、疲れ切ったまま一週間が終わりました。

ゆっくりとメールを打つことができず、すみませんでした。

暑いといっても、この時期はフィリピンの一年の中で一番涼しい時期です。昼間は30度近くまで上がりますが、朝晩は25度前後と非常に過ごしやすいです。これから学期末までは、課題やテストがたくさんあるので、ますます忙しくなるかと思えます。体調管理や安全にだけ特に気をつけて、また頑張ります。

さて、先日お話ししていた寮の写真を添付します。

今住んでいる寮は、カトリックの教会が運営している女子寮で、写真を見ていただければ分かる通り、とてもきれいで落ち着いていて生活も勉強もしやすいです。

マニラで勉強や仕事をしなければならぬ他のの人たちに住居を提供しよう、ということが趣旨で営利目的ではないため、家賃も同地域の他の寮に比べて安いです。

また日本人は私一人ですが、他にフィリピン人、韓国人、ベトナム人、中国人がいます。みんなとてもいい人たちで、プライバシーを尊重しながらも、時々是一緒にご飯を食べたり、お喋りしたりして、楽しいです。やっと落ち着いて生活できる場所を見つけたかなと思っています。キッチンもご覧の通りきれいで広いので、料理も楽しく作れますし、フィリピンではあまり期待できない水回りがとてもきれいなので、本当に快適です。

それではまた勉強してきます！
良い連休をお過ごしください！

内田 夏樹

